※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	教育ボランティア（集中講座）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、教育関連施設（幼稚園・保育園・小学校・中学校・科学館・博物館・美術館・図書館・児童館・区役所など）での職場体験を行います。
・事前学習、体験、そして振り返りという一連の活動を通して、これまで授業で学んだ知識や技術の定着をめざします。
・学校や地域の一員として課題解決に向けて主体的に考えて行動する力や、チームとして協働して活動するためのコミュニケーション能力が身につくよう、積極的に活動に参加しましょう。また、社会人としての基本的なマナーも学習しましょう。
・ワークシートには、自身で考えたことや気づいたことだけでなく、クラスメイトの意見や感想も記入しましょう。

２　学習の到達目標

教育に携わるための見方・考え方を働かせ、教育関連施設での職場体験を通して、よりよく課題を発見し、解決していくための資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）職場体験での実践的な活動を通して、これまで授業で学んだ内容と実践を結びつけて考察することができる。また、社会人としての基本的なマナーを身につける。
（２）学校や地域の一員として課題を発見し、教育に携わる立場として創造的に解決する力を養う。
（３）学校や地域の一員として課題の解決に向けて、実習や活動に主体的・協働的に取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	職場体験での実践的な活動を通して、これまで授業で学んだ内容と実践を結びつけて考察することができる。また、社会人としての基本的なマナーを身につけている。	学校や地域の一員として課題を発見し、教育に携わる立場として創造的に解決する力を身につけている。	学校や地域の一員として課題の解決に向けて、実習や活動に主体的・協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期末～夏休み	事前学習	・教育に関する仕事はどんなものがあるか調べる。 ・訪問先の施設の仕事内容等を調べる。 ・社会人としての基礎的なマナーを学ぶ。	a:訪問先の施設の仕事内容や社会人としてのマナーを理解している。 b:それぞれの施設における仕事内容から必要な知識や技術を考え、予想される自身の課題を発見し、よりよく解決するための考えを適切にまとめて伝えることができる。 c:それぞれの活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	ワークシート 確認テスト	ワークシート 発表	ワークシート 観察
	実習	・協力団体において職場体験を行う。	a:訪問先の施設の仕事内容やマナー社会人としてのマナーをよく理解して活動に取り組んでいる。 b: それぞれの施設における仕事内容ややりがいを、体験を通して理解し、自分の課題を発見し解決するための方法を考えて行動することができる。 c:実習に主体的・協働的に取り組むことができる。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	事後活動	・振り返りを行い、クラスで共有する ・ボランティアの成果を発表する ・協力団体へお礼をする	a:実習を振り返って、これまで授業で学んだ内容と実践を結びつけて考察することができる。 b:実習を振り返って、学校や地域の一員としての自身の課題を発見し、教育に携わる立場として創造的に解決するための方法を考え、工夫して伝えることができる。 c:実習を振り返って、よりよい教育活動に貢献しようとする態度を身につけている。	レポート 発表	レポート 発表	レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度